

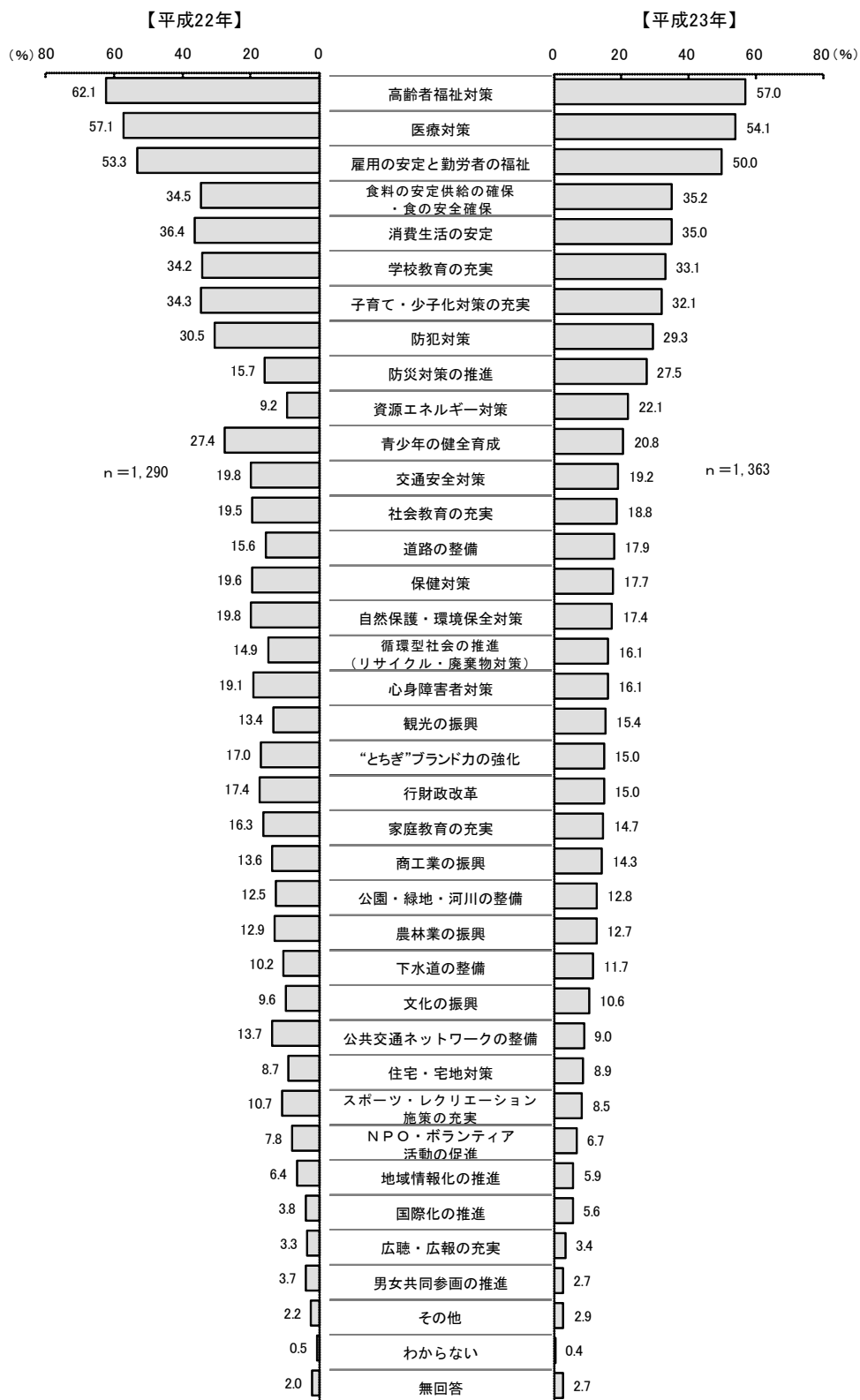
## 2 県政への要望について

### (1) 県政への要望

問5 県では、皆様のご理解とご協力を得ながら“「安心」「成長」「環境」をともにつくる元気度 日本一 栃木県”をめざしていろいろな仕事をしています。あなたが、県政に対して、特に力を入れてほしいことは何ですか。次の中からいくつでも選んでください。

[n=1,363]

|    |                       |            |
|----|-----------------------|------------|
| 1  | 学校教育の充実               | 33.1%      |
| 2  | 青少年の健全育成              | 20.8       |
| 3  | 家庭教育の充実               | 14.7       |
| 4  | 社会教育の充実               | 18.8       |
| 5  | 文化の振興                 | 10.6       |
| 6  | スポーツ・レクリエーション施策の充実    | 8.5        |
| 7  | NPO・ボランティア活動の促進       | 6.7        |
| 8  | 広聴・広報の充実              | 3.4        |
| 9  | 国際化の推進                | 5.6        |
| 10 | 子育て・少子化対策の充実          | 32.1       |
| 11 | 高齢者福祉対策               | 57.0       |
| 12 | 心身障害者対策               | 16.1       |
| 13 | 医療対策                  | 54.1       |
| 14 | 保健対策                  | 17.7       |
| 15 | 男女共同参画の推進             | 2.7        |
| 16 | 農林業の振興                | 12.7       |
| 17 | 食料の安定供給の確保・食の安全確保     | 35.2       |
| 18 | 商工業の振興                | 14.3       |
| 19 | 観光の振興                 | 15.4       |
| 20 | 雇用の安定と勤労者の福祉          | 50.0       |
| 21 | 住宅・宅地対策               | 8.9        |
| 22 | 資源エネルギー対策             | 22.1       |
| 23 | 下水道の整備                | 11.7       |
| 24 | 公園・緑地・河川の整備           | 12.8       |
| 25 | 公共交通ネットワークの整備         | 9.0        |
| 26 | 道路の整備                 | 17.9       |
| 27 | 地域情報化の推進              | 5.9        |
| 28 | 防災対策の推進               | 27.5       |
| 29 | 防犯対策                  | 29.3       |
| 30 | 交通安全対策                | 19.2       |
| 31 | 消費生活の安定               | 35.0       |
| 32 | 自然保護・環境保全対策           | 17.4       |
| 33 | 循環型社会の推進（リサイクル・廃棄物対策） | 16.1       |
| 34 | 行財政改革                 | 15.0       |
| 35 | “とちぎ”ブランド力の強化         | 15.0       |
| 36 | その他                   | 2.9        |
| 37 | わからない<br>(無回答)        | 0.4<br>2.7 |

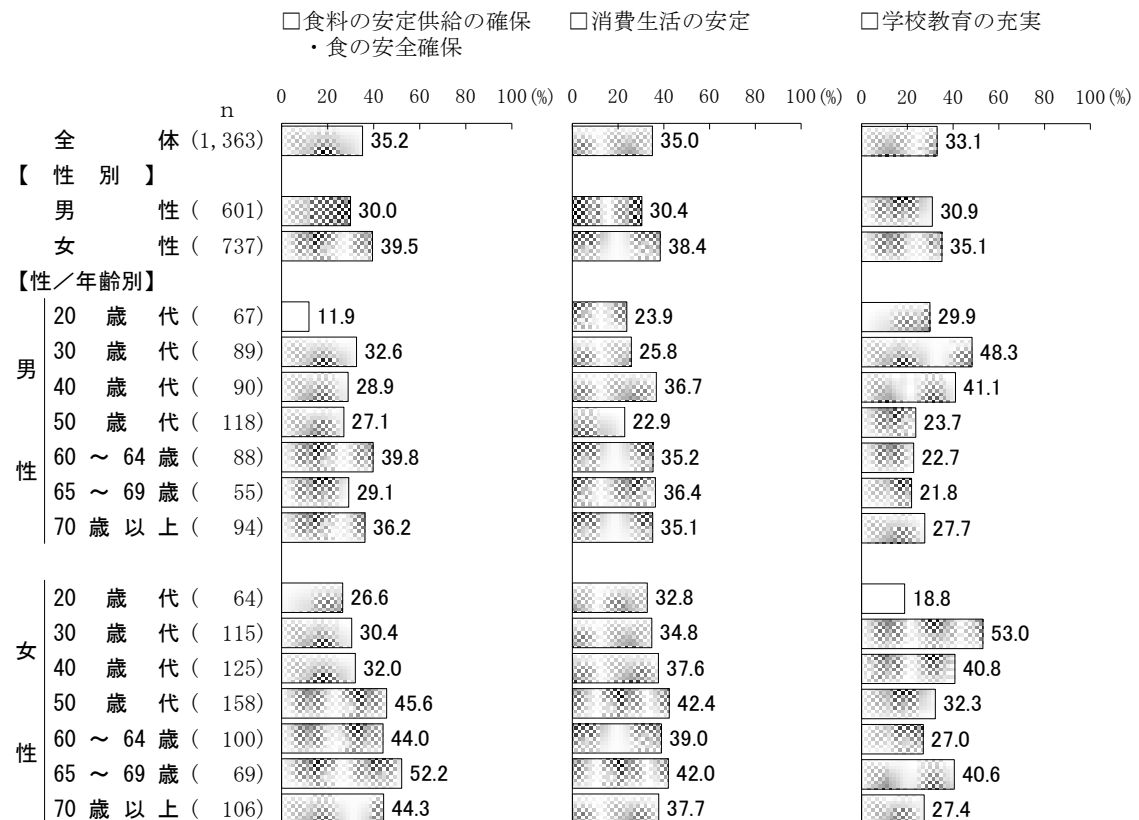
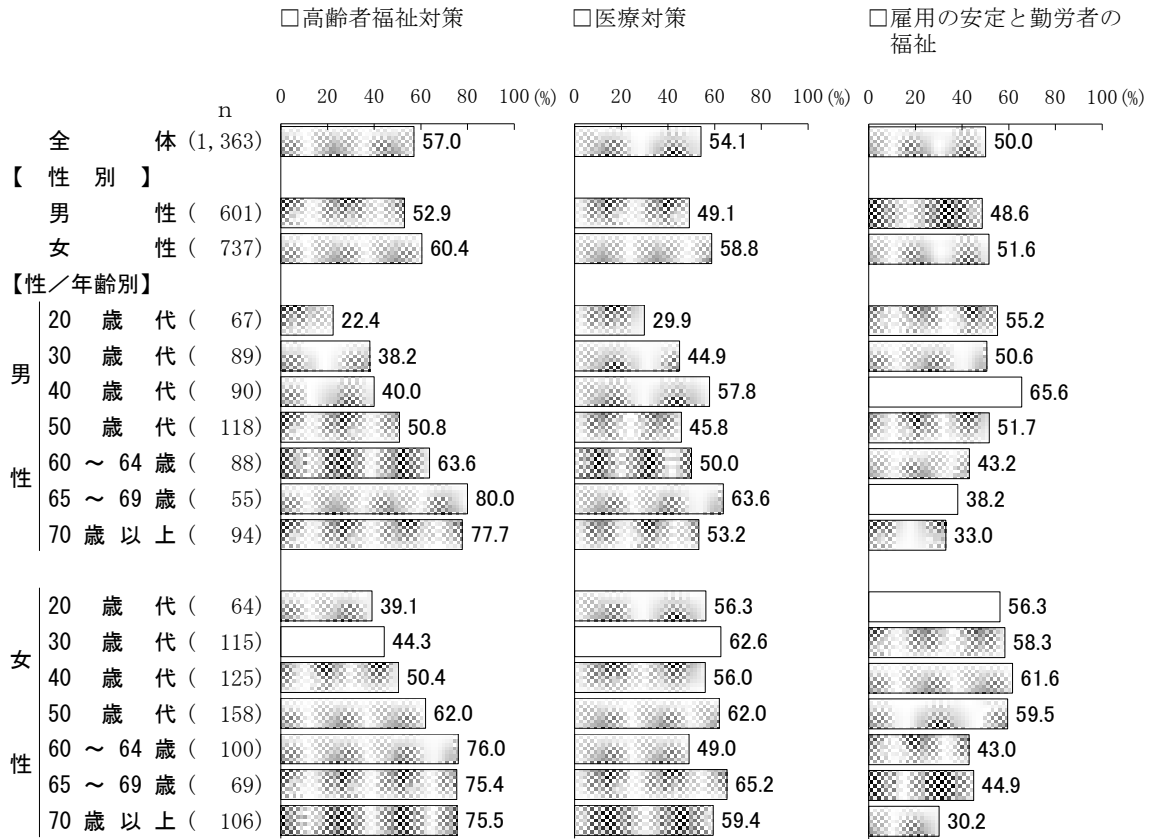


全体で見ると、「高齢者福祉対策」（57.0%）、「医療対策」（54.1%）、「雇用の安定と勤労者の福祉」（50.0%）の3項目が特に高く、次いで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」（35.2%）、「消費生活の安定」（35.0%）、「学校教育の充実」（33.1%）、「子育て・少子化対策の充実」（32.1%）、「防犯対策」（29.3%）、「防災対策の推進」（27.5%）の順となっている。

前回（平成22年）の調査結果と比較すると、「高齢者福祉対策」は前回（平成22年）より5.1ポイント低くなっている。一方、「資源エネルギー対策」は12.9ポイント、「防災対策の推進」は11.8ポイント前回より高くなっている。

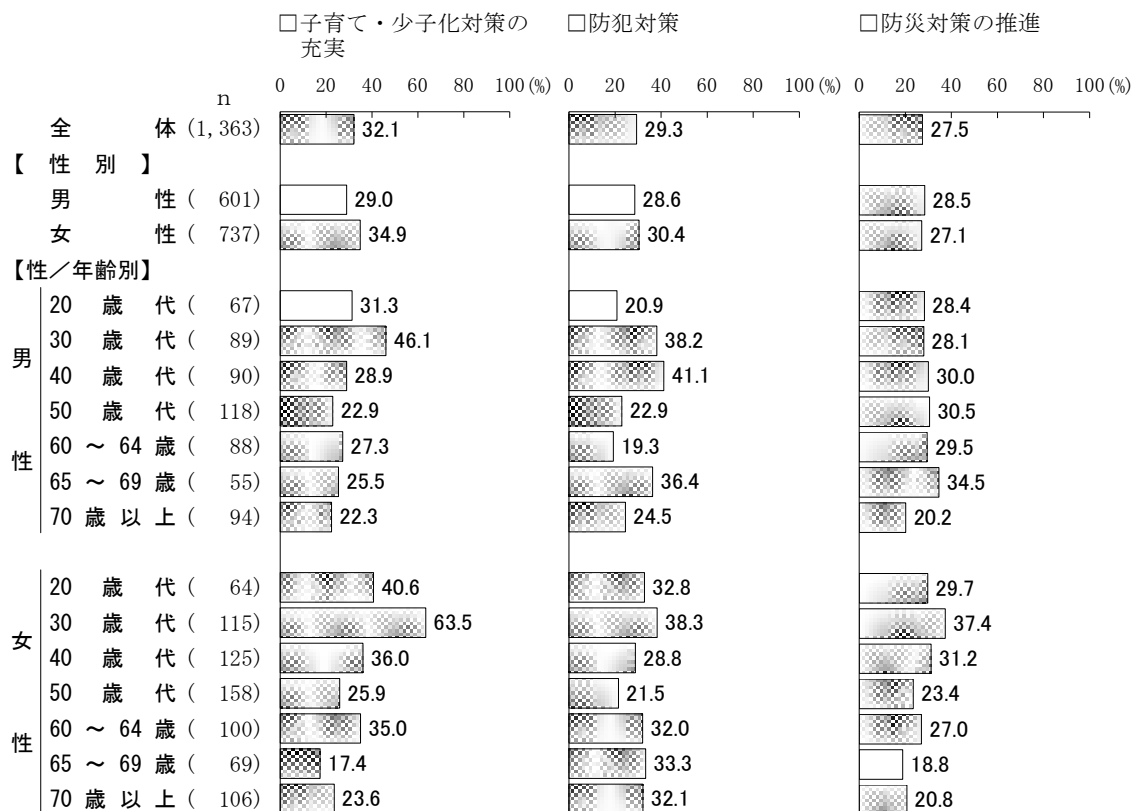
[性別・性／年齢別]

(上位9項目)



[性別・性／年齢別]

(上位9項目)

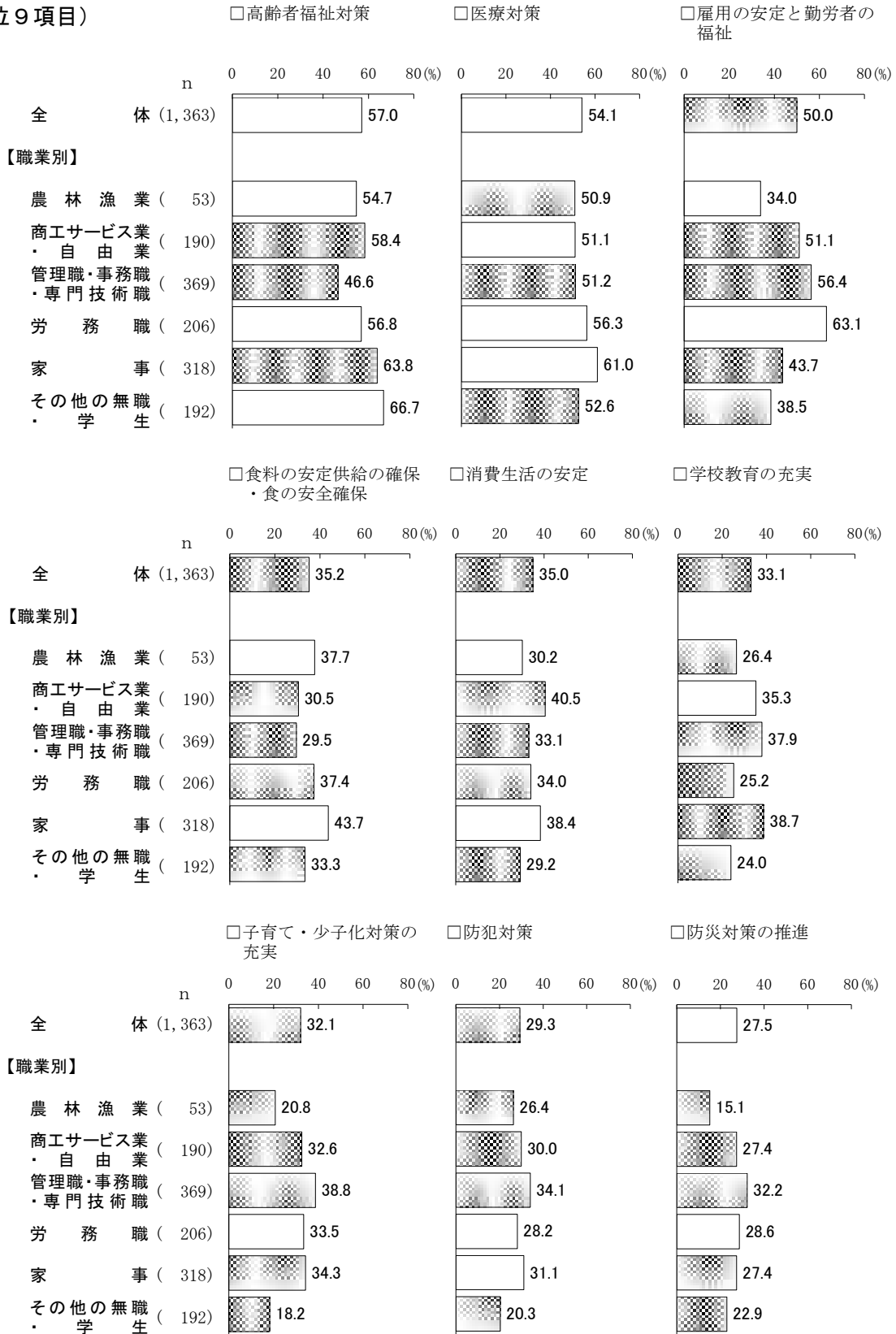


性別で見ると、「医療対策」では〈女性〉(58.8%)が〈男性〉(49.1%)より9.7ポイント高く、また、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈女性〉(39.5%)が〈男性〉(30.0%)より9.5ポイント高く、男女間の差が大きくなっている。

性／年齢別で見ると、「高齢者福祉対策」では〈男性65～69歳代〉(80.0%)が8割と最も高く、〈女性60歳代以上の年代〉が7割半ばと高くなっている。また、「雇用の安定と勤労者の福祉」では〈男性40歳代〉(65.6%)が6割半ばと最も高く、「学校教育の充実」と「子育て・少子化対策の充実」では、〈女性30歳代〉がそれぞれ53.0%、63.5%と最も高くなっている。

[職業別]

(上位9項目)



職業別でみると、「高齢者福祉対策」では〈その他の無職・学生〉が66.7%、〈家事〉が63.8%と6割を超え高くなっている。また、「医療対策」では〈家事〉が61.0%、「雇用の安定と勤労者の福祉」では〈労務職〉が63.1%、「食料の安定供給の確保・食の安全確保」では〈家事〉が43.7%と最も高くなっている。

[過去の調査結果]

(上位5項目)

| 順位<br>年 | 1 位              | 2 位               | 3 位                   | 4 位                        | 5 位                        |
|---------|------------------|-------------------|-----------------------|----------------------------|----------------------------|
| 平成23年   | 高齢者福祉対策<br>57.0% | 医療対策<br>54.1%     | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>50.0% | 食料の安定供給の確保・食の安全確保<br>35.2% | 消費生活の安定<br>35.0%           |
| 平成22年   | 高齢者福祉対策<br>62.1% | 医療対策<br>57.1%     | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>53.3% | 消費生活の安定<br>36.4%           | 食料の安定供給の確保・食の安全確保<br>34.5% |
| 平成21年   | 医療対策<br>65.1%    | 高齢者福祉対策<br>62.8%  | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>47.3% | 消費生活の安定<br>41.6%           | 食料の安定供給の確保・食の安全確保<br>37.5% |
| 平成20年   | 高齢者福祉対策<br>62.9% | 医療対策<br>60.7%     | 消費生活の安定<br>44.3%      | 食料の安定供給の確保<br>41.6%        | 防犯対策<br>39.2%              |
| 平成19年   | 高齢者福祉対策<br>62.6% | 医療対策<br>57.6%     | 防犯対策<br>36.3%         | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>35.8%      | 学校教育の充実<br>35.6%           |
| 平成18年   | 高齢者福祉対策<br>55.2% | 医療対策<br>51.4%     | 防犯対策<br>40.3%         | 子育て・少子化対策の充実<br>37.2%      | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>36.8%      |
| 平成17年   | 高齢者福祉対策<br>56.3% | 医療対策<br>51.0%     | 防犯対策<br>43.6%         | 青少年の健全育成<br>37.9%          | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>37.6%      |
| 平成16年   | 高齢者福祉対策<br>55.1% | 医療対策<br>45.6%     | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>39.7% | 防犯対策<br>35.9%              | 青少年の健全育成<br>34.3%          |
| 平成15年   | 高齢者福祉対策<br>55.6% | 医療対策<br>46.7%     | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>41.5% | 青少年の健全育成／防犯対策<br>34.1%     |                            |
| 平成14年   | 高齢者福祉対策<br>57.1% | 医療対策<br>48.3%     | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>41.7% | 青少年の健全育成<br>34.5%          | 廃棄物の処理対策<br>32.7%          |
| 平成13年   | 高齢者福祉対策<br>51.7% | 青少年の健全育成<br>43.6% | 廃棄物の処理対策<br>42.0%     | 医療対策<br>39.9%              | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>36.2%      |
| 平成12年   | 老人福祉対策<br>41.5%  | 青少年の健全育成<br>39.3% | 廃棄物の処理対策<br>34.1%     | 学校教育の充実<br>34.0%           | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>31.3%      |
| 平成11年   | 老人福祉対策<br>46.5%  | 廃棄物の処理対策<br>42.8% | 医療対策<br>39.2%         | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>39.1%      | 青少年の健全育成<br>35.5%          |
| 平成10年   | 老人福祉対策<br>47.3%  | 医療対策<br>39.2%     | 物価対策<br>34.2%         | 廃棄物の処理対策<br>33.8%          | 雇用の安定と勤労者の福祉<br>29.5%      |
| 平成9年    | 老人福祉対策<br>48.2%  | 医療対策<br>41.0%     | 廃棄物の処理対策<br>30.1%     | 下水道の整備<br>26.7%            | 学校教育の充実<br>25.0%           |

※平成12年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」

平成12年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」

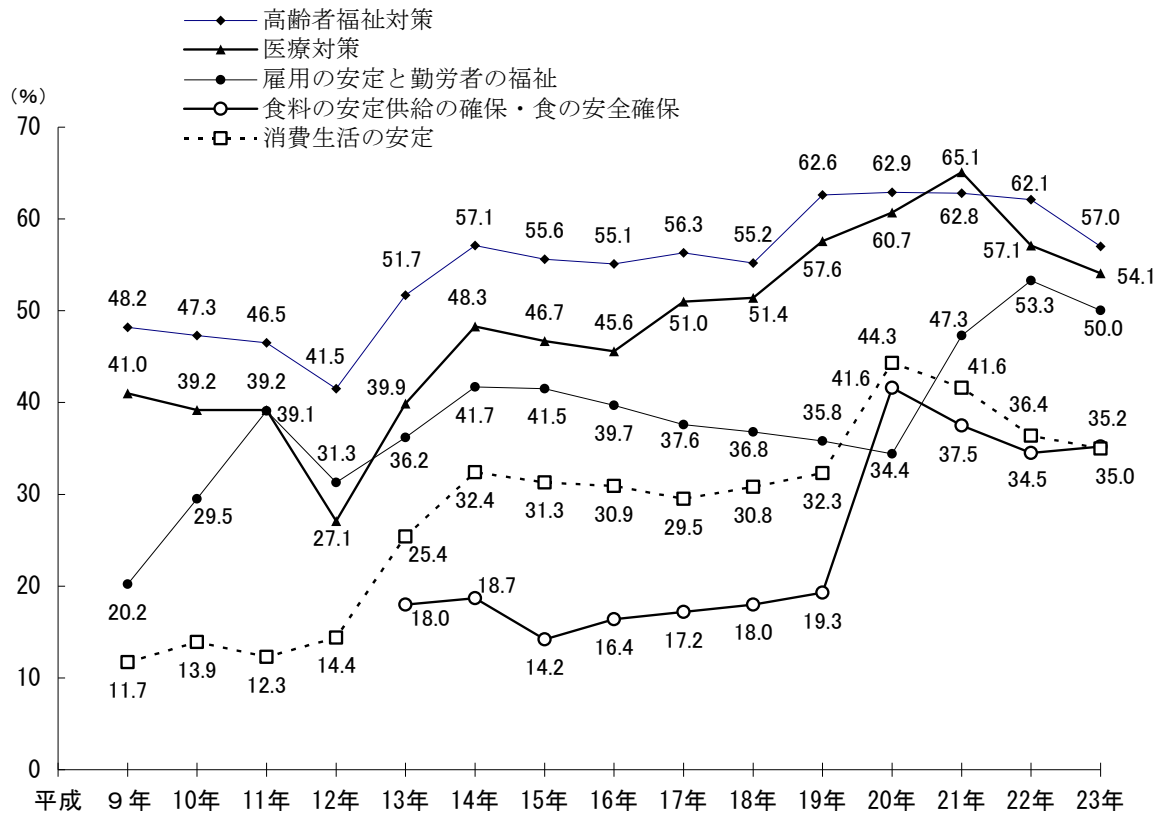
平成20年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、

平成13年より加わった選択肢である。

上位5項目を過去の調査結果と比較すると、1位から3位までは前回（平成22年）と同じ順位となり、平成14年から「高齢者福祉対策」と「医療対策」のどちらかが1位及び2位を占めている。また、昨年5位であった「食料の安定供給の確保・食の安全確保」が4位、昨年4位であった「消費生活の安定」が5位となっている。

[過去の結果の推移]

(上位5項目)



※平成12年まで「高齢者福祉対策」は「老人福祉対策」

平成12年まで「消費生活の安定」は「消費者保護対策」

平成20年まで「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は「食料の安定供給の確保」であり、平成13年より加わった選択肢である。

上位5項目について比率の推移をみると、5位の「食料の安定供給の確保・食の安全確保」は前回（平成22年）より0.7ポイント増加した一方、その他の項目はすべて、前回（平成22年）より減少している。

1位の「高齢者福祉対策」は前回より5.1ポイント減少している。3位の「雇用の安定と勤労者の福祉」は平成21年から2年連続して大きく増加していたが、今回は3.3ポイント減少している。5位の「消費生活の安定」は平成21年から3年連続して減少している。